



平成26年度 町長と語るつどい

# アンケート結果集計表

平成26年6月24日～9月2日 実施【22会場】

<b>開催日時</b> 平成26年6月24日(火)～9月2日(火) 19:30～21:30	<b>開催会場</b> 22会場 丹波地区 9会場 瑞穂地区 7会場 和知地区 6会場	<b>内容</b> ・町の予算と主要事業について ・懇談、意見交換
---	--	---

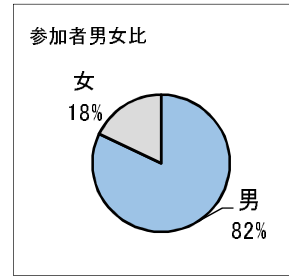
■アンケート回答率

丹波	81.7%
瑞穂	79.2%
和知	72.3%
全体	78.6%

■参加者数 単位:人

	計			男			女		
	H26	H25	比較	H26	H25	比較	H26	H25	比較
丹波地区	289	322	-33	233	259	-26	56	63	-7
瑞穂地区	159	164	-5	133	127	6	26	37	-11
和知地区	155	176	-21	129	150	-21	26	26	0
計	603	662	-59	495	536	-41	108	126	-18

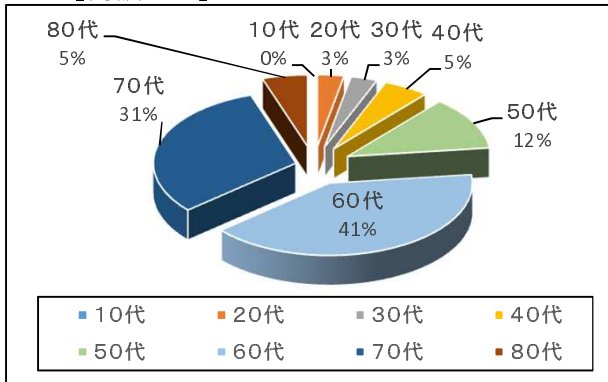
1 性別参加者比



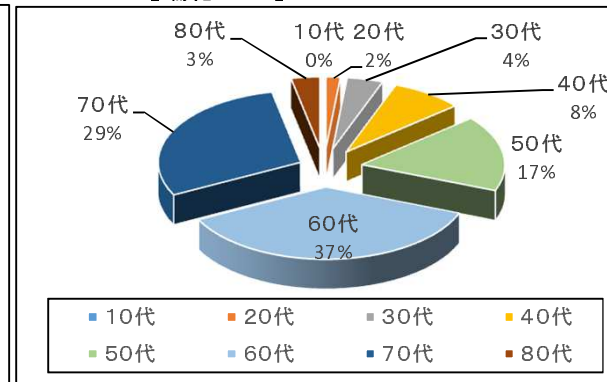
参考:過去の参加者数 単位:人

	H22	H23	H24	H25
男	649	615	586	536
女	165	136	152	126
計	814	751	738	662

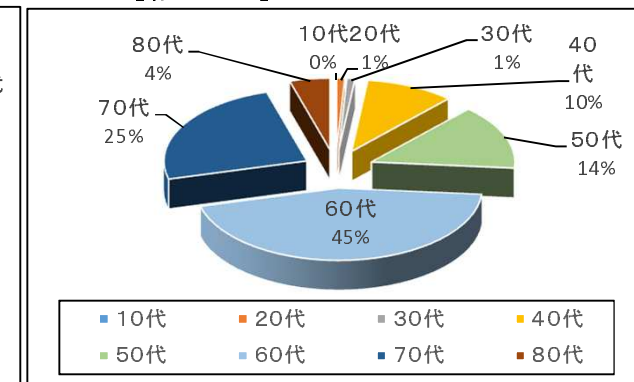
2 年齢別参加者数  
【丹波地区】



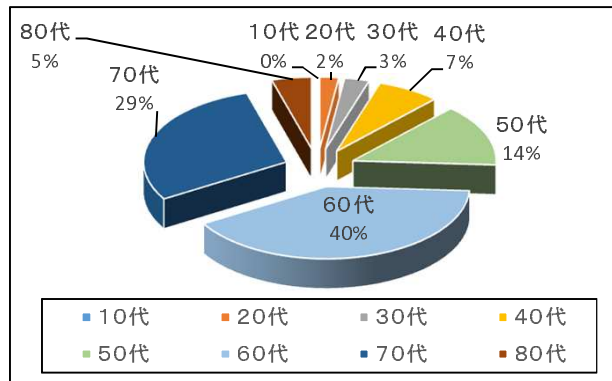
【瑞穂地区】



【和知地区】



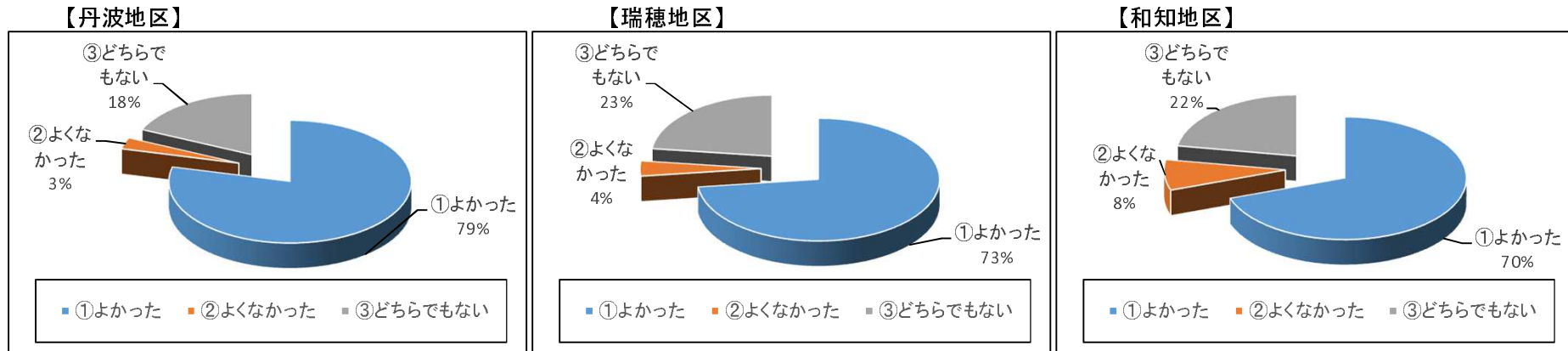
【全体】



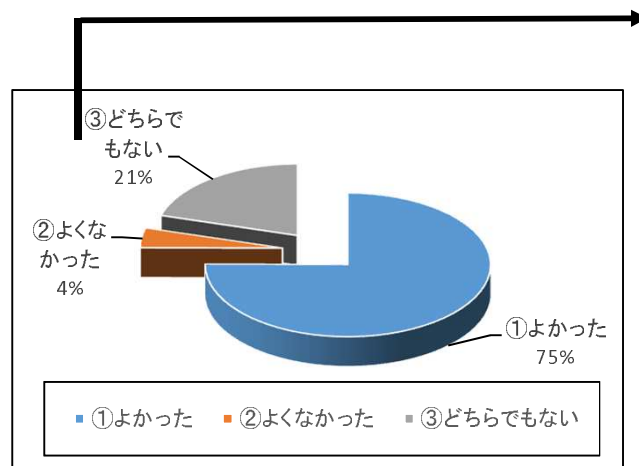
【結果】

- 参加者は、昨年に比べ59人減少。
- 男女比は、約8対2で、圧倒的に男性が多い。
- 参加者は60代が全体の41%。50～70代で約8割を占める。
- 若年層(10代、20代)は2%と参加者が少ない。
- 子育て世代(30代・40代)も10%と参加者が少ない。

3 「町長と語るつどい」はいかがでしたか。



【全体】

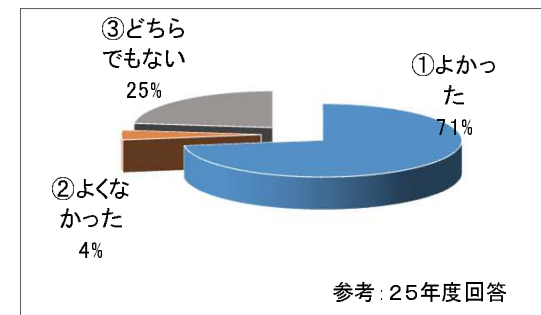


よくなかった理由(複数回答可)

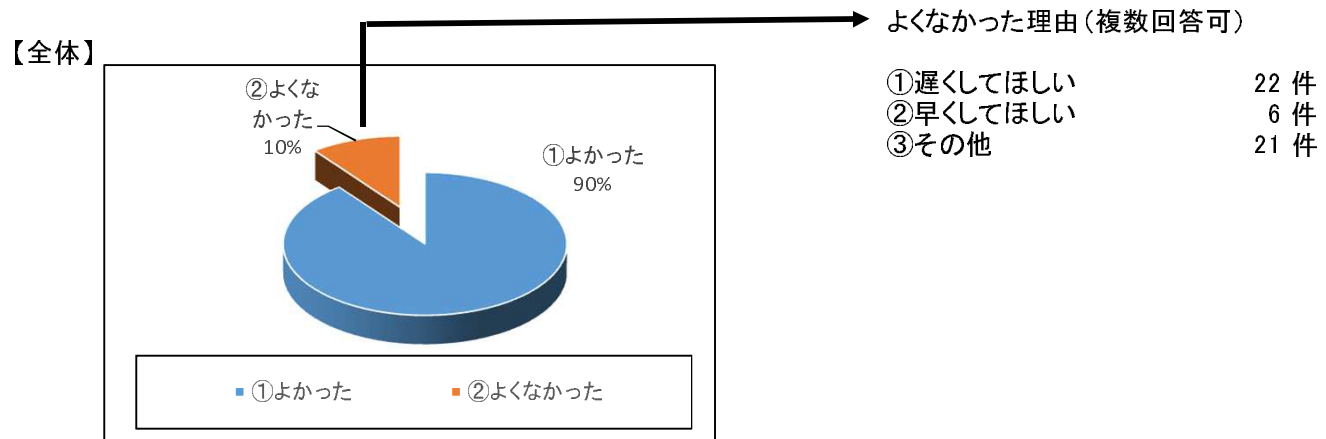
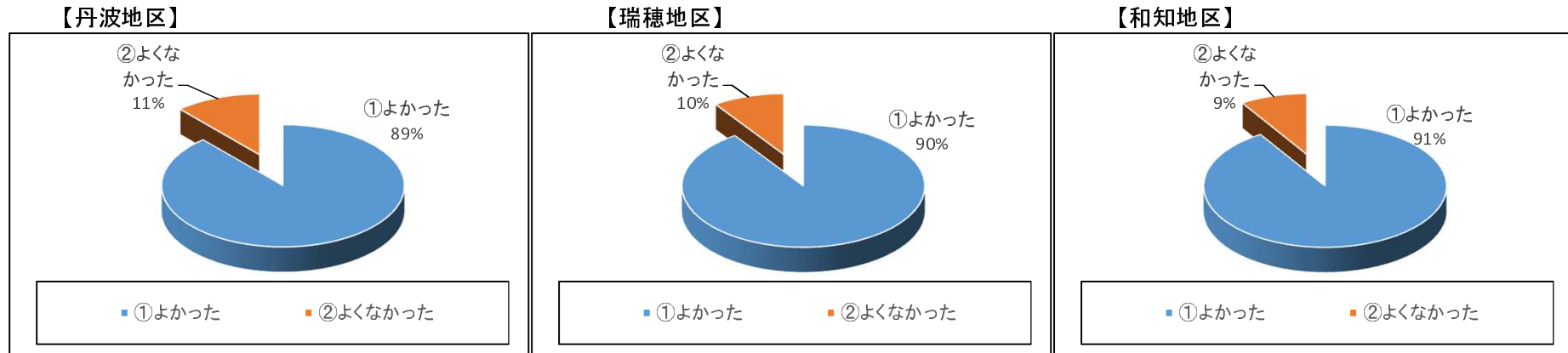
①時間配分が悪い	2件
②説明が長い、わかりにくい	3件
③充実した対話の場でない	10件
④その他	9件

【結果】

- 「町長と語るつどい」について、よかったという肯定的ご意見が約7割。
- よくなかったという否定的ご意見は全体の4%。
- よくなかった理由としては、充実した対話の場でないとの意見。



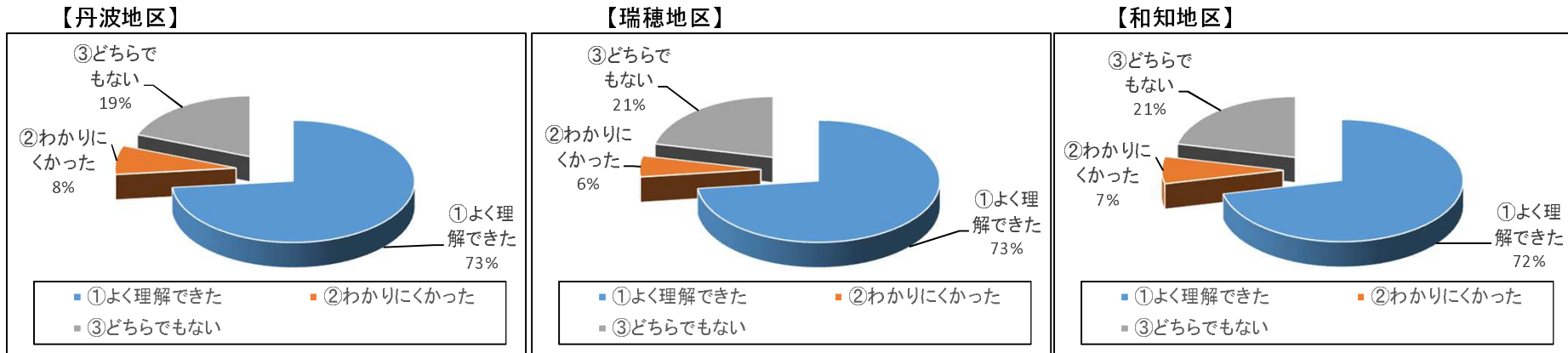
4 開催時間について、いかがでしたか。



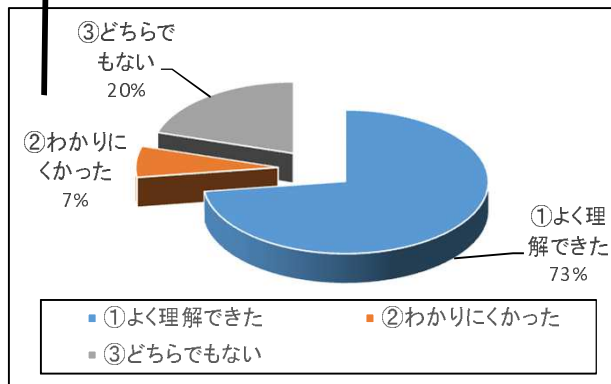
【結果】

- よくなかったという否定的ご意見は10%。
- よくなかった理由としては、開始時間を遅くしてほしいという意見が多い。
- よくなかった理由の「その他」として、昼間に開催してほしいとの意見もあり。

5 説明はわかりやすかったですか。



【全体】

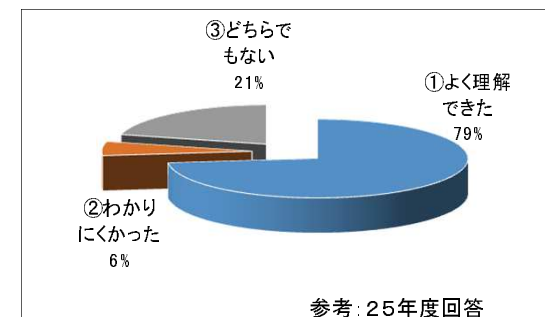


わかりにくかった理由(複数回答可)

①行政用語が多い	3件
②説明の速度が早い	2件
③説明時間が長い	1件
④ビデオでの説明がわかりにくい	14件
⑤その他	17件

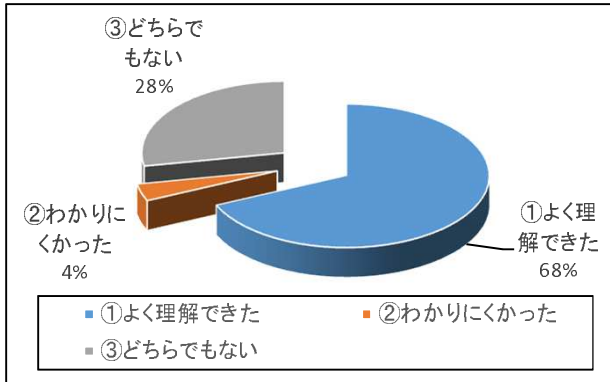
【結果】

- 説明についてよく理解できたという肯定的ご意見が7割。
- わかりにくいという否定的なご意見は、7%で少数。
- よく理解できた理由としては、ビデオでの説明がよかったという意見が多くあったが、わかりにくい理由として、ビデオでの説明が分かりにくいという意見もあり。

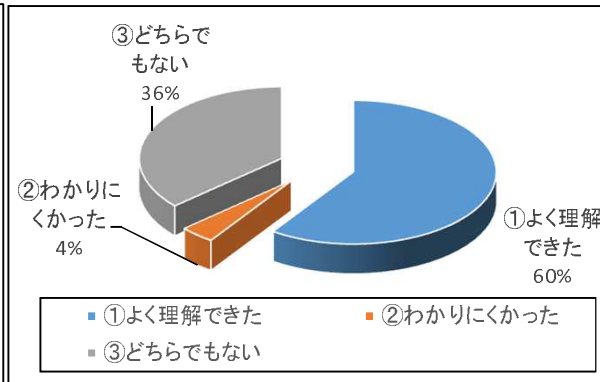


6 資料はわかりやすかったですか。

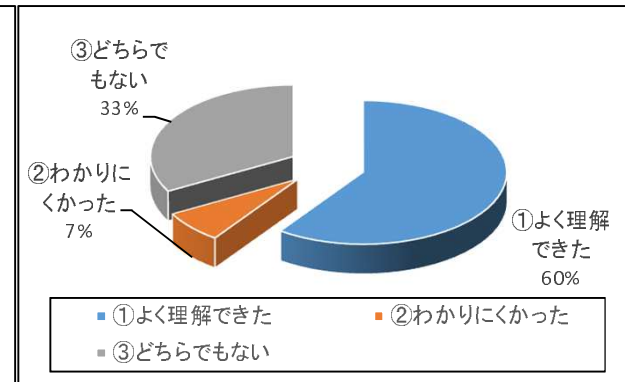
【丹波地区】



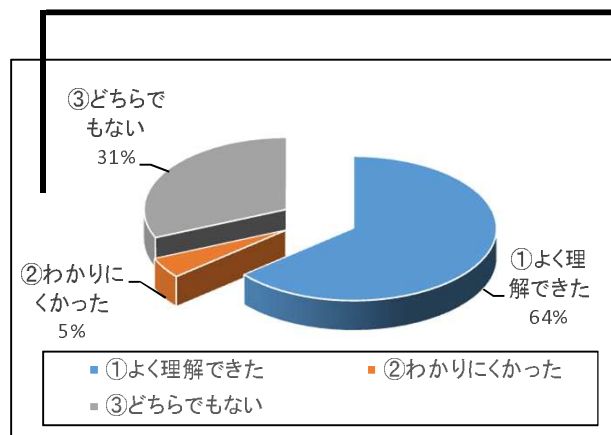
【瑞穂地区】



【和知地区】



【全体】

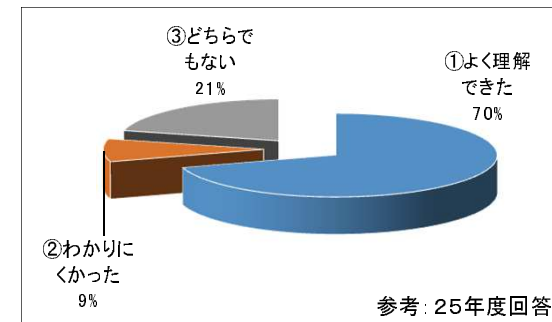


わかりにくかった理由(複数回答可)

- |              |    |
|--------------|----|
| ①事業内容がわかりにくい | 9件 |
| ②文字が小さい、見にくい | 2件 |
| ③量が多い        | 1件 |
| ④量が少ない       | 5件 |
| ⑤その他         | 6件 |

【結果】

- よく理解できたという肯定的ご意見が約6割。
- わかりにくいという否定的なご意見は、5%と少数。
- わかりにくい理由としては、事業内容がわかりにくいなどの意見。



## 懇談会のご意見・ご感想

### 【つどいに対する肯定的ご意見・ご感想】

#### ■開催方法・内容等について

- ・毎年参加しているが、大変よかった。
- ・町長の「安心・活力あるまちづくり」等町長の市政の取り組みに安心感を持ちました。
- ・税金の使い道が、思っていたより良い方向に使われていることが分かってよかった。
- ・町長の意気込みがよく分かった。
- ・町長の話から物事の考え方について勉強になりました。
- ・生の声が聞けてよかった。
- ・「町長と語るつどい」は直接町長さんの考えが分かる意味で大切に意義がある。充実した内容の会になってよかった。全町を回られるので大変だと思うが、今後ともお願いしたい。
- ・進め方が今までとは違い、懇談の時間が多く、たくさんの意見が出てよかった。
- ・各質問に町長が主体的に回答することがよい。
- ・来年もこの場で集いが持てたらと願います。
- ・地域の問題、町の問題等、生の声が聞けたことは有意義な時間であった。女性、若い世代がもっと参加できるよう呼びかけていただくことをこれからも希望します。
- ・参加して、自分自身が町行政に対し、勉強不足であり、今後勉強し、質問できるようにしたい。
- ・身近な思い、意見を伝える場として大変意義がある。今回安井公民館での開催はよかった。
- ・可能な限り続けてやってほしい。
- ・このような機会に地域の住民もできる限り積極的に参加し、日ごろの思い、不満、希望（要望）を出していけばいいと思う。
- ・町長の思いや構想を聞かせていただき、夢を持って地域力と行政補助で更に地域発展をさせたい。
- ・色々なことを幅広く語れたと思う。
- ・資料の説明よりも町長さんの言葉がたくさん聞けてよかった。思いや言葉を聴くことで皆がいろいろ考える材料がたくさん聞いた。今までの中で一番よかったと思う。
- ・2期目ということで自身をもって業務をやっておられることがわかった。誠実に説明されていた。できれば最後の質疑応答の際のビデオ映像は、その会場での一番よい景色を写していただければもっと身近に感じるのではないか。
- ・来てよかった。
- ・町長の話し言葉はいつもいいです。
- ・語るつどい開催については、良かったと思う。
- ・会としては、参加してよかったが、参加者が少ないのが残念だ。
- ・町長は、親しみがあってよい。
- ・初めて参加しましたが、大変よい取り組みだと感心しました。
- ・京丹波町の最北部まで足を運んで「語るつどい」を開催されたことをお礼申し上げます。
- ・町長、副町長の対応姿勢がよかった。
- ・全般によかった。今後とも続けてほしい。
- ・町長さんの町づくりに対する思いがよく伝わりました。
- ・非常に意義であった。
- ・出席者が少ないのが残念です。各自が行政に関心を持つことが必要と思う。

#### ■懇談・意見交換について

- ・町の様子が良く分かった。年2回開催してほしい。
- ・日ごろ感じていることや、困りごと、災害のことや綾部丹波道路の工事の件についても活発な意見が出て、町長さんに聞いてもらえてよかったと思う。
- ・普段生活している地域であっても気づかなかった意見を聞くことができてよかった。
- ・聞きたいことなど簡潔にまとめられ、よかった。
- ・意見が少ないのは、不足がないのではないのでしょうか。
- ・笑いもあって、町長と町民の話が本当によかった。日頃から町長の顔を見て話せるこんな機会を持っていただきたい。
- ・なかなか対話型の懇談というのは、難しいが、参加者に「何かありませんか？」の質問はよくない。
- ・参加人数が少なかつたわりに、質問者の意見がしっかりまとまっていてよかったが、場に相応しくないと思える意見もあったのが残念。

#### ■資料について

- ・資料に、前年比が載っていればなおよい。

#### ■説明について

- ・ザックリとしたDVDであったが、昨年までの数字の説明より、より理解しやすかった。
- ・DVDでは、文字が大きく後ろからでもよく見えた。また、「予算はいくらだと思いますか？」のように問いかけもあり、内容が入ってきやすかった。自分の住んでいる地域の町民の生の声が聞けて勉強になった。
- ・DVDは、よく理解できたが、丹波の発展の様子を具体的映像で表していただきたい。
- ・地域住民が気軽に町長、幹部と話ができる場は大変貴重であり、大切だと思います。今後も継続していただければと思います。
- ・若い人の参加者が少なかつたが、役場に対して意見や思いを持っている友人は多くいるので、積極的に参加してもらえるように声をかけようと思った。
- ・DVDでの説明が簡潔でよかった。多くの応答があってよかった。
- ・前年度は、予算説明をされていたが、今年度は、ビデオ説明でありよかった。特にポイントだけが上映されており、時間も長くなってよかった。
- ・DVD使用は、分かりやすかつた。ビデオの内容について、特に訴えたい事項に絞る。配布資料を配っているのでも、同じ内容にすることもないと思う。
- ・他の市町村との比較や京丹波町の優れているところ、進んでいる取り組み等の説明もあった方がうれしい。また実際の実施事案の報告等、各地区ごとに要望や改善事項等を絞り改善策、取り組み状況等を説明いただければありがたい。

#### 【つどいに対する否定的ご意見・ご感想】

#### ■懇談・意見交換について

- ・配布資料の説明がほしかつた。
- ・区域外の人の意見が出ることで、地元の考えが統一できないことになる。
- ・出席者が少ない。問題を検証する必要がある。時間設定よりも町長と語る会に町民の関心がない。魅力がない。町長を支持する者が出席しているのが現状。
- ・町の一方的な話になっている。
- ・話している人の声（マイクの声）が分かりにくい所があつた。
- ・議員さんには、議会で済ませることのできる提案は、議会でやってもらふべき。
- ・放送設備が悪いのか。声が聞き取り難い。・質問に対して、町長の回答が的を得ていない。
- ・予算の中に人件費の内訳が不明。
- ・この場での町議会議員の質問は良くない。議員が質問者の顔ばかり見ている。町長ばかりが質問に答えている。主任か課長が裂きに答え、後で補足したらいいと思う。
- ・いつも同じ方の発言になる。多くの人が発言できる場にならないものか。
- ・毎回参加者が少ないのは、何故なのか。
- ・町民の視線が大切。



#### ■資料について

- ・資料には、短い中期の展望の計画性と伴う予算の明確化が必要。
- ・資料に昨年の結果等が書かれていないので、事業内容が分かり難い。
- ・説明のビデオと資料と異なる表現の箇所があったため、分かりにくかった。
- ・資料をもう少し具体的に載せてほしい。・資料は、文字が小さくて見にくい。項目の列記だけでなく、金額的差異も視覚的に分かるようにすると見やすいのではないか。

#### ■説明について

- ・時間的なこともあるが、DVDはもう少し詳しくしてほしい。
- ・DVDは、何かインパクトが欠如している。
- ・DVDは、予算的（数字的）には理解できるが、具体的な計画が不明である。
- ・説明DVDのBGMがうるさい。
- ・DVDでの説明は、速度が速く簡潔すぎて分かりにくい。
- ・DVDで、25年度経費との違い、今年度はこの様なことに重点を置いているなど、各項目について、説明をしてほしい。
- ・もう少し具体的に説明してほしい。
- ・DVDによる説明は、資料と一致していない。
- ・資料とDVDが一致してなくて分かりにくい。資料に沿ったDVDにすべき。
- ・11分くらいの説明ビデオでは、全ての項目について説明するのは無理だし、重点的などころだけであった。

#### 【提言・要望等】

##### ■つどいについて

- ・事前に質問事項を集め、答えや対策が言えるようにしたらよいのではないか。その答えもホームページに掲載し、いつでも見れるようにしてはどうか。
- ・夏場の「つどい」開催なので、30分送らせてほしい。
- ・説明資料に町の組織図、電話番号などを入れて欲しい。
- ・広報しても参加者が少ないので、身近な場所、会場ではどうか。
- ・毎年、今年度の予算説明があるが、それをなくして意見交流を長くしたほうがよいのではないか。
- ・夫々の地区に関する施策を提案してもらっての話し合いの方法はどうでしょうか。
- ・年々どの会場も参加者が減っていることの検証が必要。併せて、予算説明のみに終わらず、本年度のポイント（重要施策）に絞って示し、意見を伺うなどの工夫が必要ではないか。
- ・年々出席者、発言者とも減っているように思うが、これも高齢化に伴う「活力の低下」なのか。「つどい」そのものに魅力がないのか、原因を分析して対策を講じる必要があるのではないか。
- ・「つどい」が住民のガス抜きノバ、行政のパフォーマンスの場にならないよう切望する。語る会が悪いとは思いませんが、この辺で立ち止まり、この会以上の方法はないのか考える時期ではないでしょうか。
- ・質問に対して調べておくとか、検討しますとかの回答は、早い期間に町民に返答してください。やると言われたことは、早く実現できるようによろしくお願いします。
- ・出席者が少なく残念。60人を望む。
- ・女性と若者が参加してもらえればよい。・「町長と語るつどい」の日程や、時間等を分かりやすく広報すれば、参加が増えるのではないか。
- ・「語るつどい」の他にも、懇談の場を増やしてほしい。長屋建設は、よいアイデアで、将来必要ですね。
- ・最初に行政側から継続の質問に対して、経過や中間報告をしてほしい。でないと同じ質問が出て、時間の無駄。
- ・質問者のマイクの使い方が悪いのか、声が聞き取り難かった。
- ・開催時間は、7時30分で良くないとは言わないが、少し慌ただしい。
- ・毎回同じ質問がでるが、質問者への回答をしていないのか。個人か区長さんに連絡、回答している旨を簡単に最初に説明してほしい。
- ・現状報告的な話だけでなく、町長の今後の夢や思いを語ってほしい。

## ■その他について

- ・他の地区を見ていると町道が整備されているが、白土区の町道は、他の地区と差があるように感じる。
  - ・成人式の開催について、なぜ三地区を回して開催されないのか。丹波地区での開催は、なぜなくなってしまったのか。丹波地区での開催を希望する。女性だけの会合があってもいいと思う。
  - ・教育委員会の方針が、町長の町政の基本としている「愛」に通じる教育方針となっているのか、疑問に感じた。プール施設の管理運営は、子どもの減少に対する施設運営の基本方針がない。住民に対する教員の対応など。
  - ・須知城跡を観光スポットに標識や標示の設置をお願いしたい。
  - ・町管理施設の件に、どうして区を通じて報告をしなければいけないのか。
  - ・交流人口で町の活性化を願う。
  - ・認知症のいる家庭への補助を考えてほしい。
  - ・パーキングエリア～公園道が早くできるように頑張ってください。
  - ・鹿対策をしっかりとしてほしい。保護地域にいる鹿、猪をしっかりと見てほしい。
  - ・鹿の対策をしっかりと欲しい。
  - ・京丹波町病院を利用するための考察①病院の先生は、外科・内科が対応できる医者を置く。②利用時間の再検討。午前9時～12時までと午後5時～午後8時までとし、救急はこの時間該当しない。③救急指定病院に恥じない対応をする。④インフルエンザ予防接種料金は、京都市に同じ料金とする。
  - ・旧3町が予算や事業を公平に使用されることを望みます。ケーブルテレビで詳細が（内訳）が見れたらいい。一般の年寄り家庭では、予算の中身は理解できないと思います。町長のまちづくりの基本方針を掲げられていますが、抽象的ではなくもっと詳細な工程表が必要です。
  - ・有害鳥獣にもっと取り組んでいただきたい。
  - ・府内において元気のある市町村は京丹波町だと思う。活気を感じる。竹野地区も積極的で活発な意見も多い。京都縦貫道開通により通過の町にならないように町全体で協力して取り組んでいきたい。
  - ・高校生や20～30歳代の若い人たちを集め、意見交換できる場所を作ってほしい。
  - ・若者が生活できる町を積極に進めて欲しいと思います。
  - ・畑川ダム周辺に式典の時に桜ともみじを植えました。この木が大きくなるころ、お花見をできるような広場ができればよいと思う。周辺に町立図書館ができるとなおうれしい。素敵な町民のいこいの広場になると思う。
  - ・鹿の出没に悩まされています。
  - ・京丹波町の人口減による対策と、町内の若人の独身者が多く見られるため、その対策をお願いしたい。
  - ・要望事項については、対策を講じていただきたい。
  - ・緊急時の情報伝達について、以前にも提案したが、メール配信できないか。（現在、京都府あんしんメールを利用しているが、リアルタイムで、非常に便利で役立っている。）
- 
- ・住民健診の受診者送迎バスについてご検討をお願いします。
  - ・医療補助を高校生まで延ばしてほしい。・ウィードの森、芦生の森から長老ヶ岳までを国定公園に。
  - ・町内に温泉や大浴場があればステキだと思う。味夢の里に造るのはどうだろう。災害時の「エリアメール」の導入をしてほしい。横領について二度と起こらないようなシステムを構築する必要がある。「町長からのあいさつ」の内容がとても濃く充実しているお話だと思うので、その部分の資料があればよかったと思う。
  - ・過疎化を防ぐためにもJRの立木駅、安栖里駅の通過は今すぐ辞めていただきたい。JRのメリットは全く理解できず代替えの交通機関があるわけでもなく、自家用車を運転でない人は切り捨てられる。そもそも1時間に1本しかない電車を停車させないのはいかがなものか。それに、以前のJRのアンケートは一体何のために使用されたのか。
  - ・町営バス運賃半額にしてほしい。

## 【その他】

- ・農水省との人事交流が予定されていることを知った。下川町のほかにもそういった人事交流をすることで、京丹波町の農林業の発展に繋がってほしいと思います。
- ・田舎ってすばらしい。何も無い所にいっぱい宝物があふれていることを発信していく京丹波町であると思っています。
- ・「森の京都」もしくは「ウィードの森」という町に方向付けられるのは、本当にうれしく思います。今後の町、田舎や公民館などこれからも楽しみにしています。
- ・鳥インフルエンザ跡地活用の予算をつけていただきありがたい。
- ・瑞穂支所の窓口での対応が一部の方だが、愛想がない。分からないので尋ねているのだからもう少し丁寧に対応して欲しい。
- ・事業を進める上で、社会福祉協議会と町の関連が不明なものがある。社会福祉協議会は、ボランティアによって運営されているのではないか。
- ・厳しい財政の中で多く占める人件費ですが、一つには、職員のスリム化が上げられる。しかしそのことに重きをおくとどうしても仕事の兼務が増えている。そのような中で、職員のスキルアップを望むには、限界があり、本人に負担がかかってくるのではないのでしょうか。極端な言い方をすれば、プロフェッショナルあふなくなる。
- ・公金横領について、説明不足。CATV利用で報告してはどうか。
- ・職員の不正事務を町長に詫びさすようなことをしてはならない。二度とこのようなことがないようにしてほしい。つどいに参加している幹部職員は、どのようなことを思い、聞いていたのか聞いてみたい。